

待 陵 通 信 第 21 号

平成 25 年 2 月 13 日
(敬称略)

① 訃報 平成 24 年 12 月 8 日以降に判明した方々 謹んでご冥福をお祈り致します。

8 文乙	庭山慶一郎	平成 24 年 12 月 7 日	東京都大田区
8 理乙	榎野幾之輔	平成 24 年 10 月 21 日	池田市
13 文乙	高尾 正男	平成 24 年 9 月 5 日	吹田市
14 理乙	尾崎 弘昌	平成 24 年 4 月 28 日	東大阪市
16 理 1	熊沢 安正	平成 24 年 4 月 12 日	生駒市
16 理 2	有馬 良一	平成 24 年 11 月 3 日	三島市
18 文 1	坂間 忠雄	平成 24 年 12 月 26 日	西宮市
19 文甲 2	谷田 篤久	平成 24 年 12 月 8 日	東京都新宿区
19 理甲 3	岡田 廣一	平成 24 年 1 月 16 日	四条畷市
21 文乙	寺下 信男	平成 25 年 1 月 10 日	大阪市浪速区
21 理 4	幸松 憲一	平成 24 年 10 月 10 日	大阪府豊能郡豊能町

② 住居・勤務先変更

21 理 2 藤井豊三遺族文子(夫人)
〒657--0068 神戸市灘区篠原北町 3-11-14 コンホートヒルズ六甲 916
電話 078-871-3664

③ 午餐会・懇話会

* 第 498 回午餐会 24 年 12 月 8 日(土) 正午～14 時 30 分

於 中央電気倶楽部 317 号室

講師 瀬戸 俊昭 元博報堂 コピーライター 待兼山俳句会会員

テーマ 「ビートルズ物語」

出席者 3 理甲遺津賀美智子・15 理乙前田哲郎・山本暉郎・16 理 2 山村好弘
17 文 1 遺山田満知子・理甲 1 栗野正之・理甲 2 山本昭夫
18 理甲 1 遺新家和己・理甲 4 高岸宗吾・理乙橋田進
19 理甲 1 津田泰男・20 文乙池口金太郎・理 2 鶴岡誠・21 文甲 1 額川勉二
21 文甲 1 真銅孝三・理 1 小谷剛造・理 2 島隆夫・理 3 後藤業明
22 文甲 2 井本憲伺・理 2 松浦實・三島佑一・理 3 井上達明
事務局阪田訓子 以上 24 名

* 第 499 回午餐会 25 年 1 月 7 日(月) 正午～14 時 30 分

於 中央電気倶楽部 317 号室

講師 辻 ひろ子 朗読家(元 K B S 近畿放送アナウンサー)

テーマ 「アナウンサーから朗読家への道」

出席者 3 理甲遺津賀美智子・6 文甲遺岩根正尚・15 理甲三木卓一・16 理 2 山村好弘
17 文 1 遺山田満知子・理甲 1 栗野正之・理甲 2 松山敏彦・理甲 2 山本昭夫
18 理甲 1 遺新家和己・理甲 4 高岸宗吾・19 理甲 1 寿栄松憲昭・津田泰男
20 理 2 鶴岡誠・橋本一成・同芳子・21 文甲 1 額川勉二・真銅孝三
21 文甲 2 露口佳彦・文乙村田正孝・理 2 武田晃世・前田泰敬・遺藤井文子
21 理 3 後藤業明・理 4 川島康生・22 理 2 松浦實・三島佑一・理 3 井上達明
22 理 4 大路清嗣・鶴岡友人江川兵次郎・事務局阪田訓子 以上 31 名

* 文楽初春公演鑑賞会 25 年 1 月 18 日(金) 第 1 部 11 時 第 2 部 16 時

於 国立文楽劇場

参加者 第 1 部 団子売・ひらかな盛衰記・本朝廿四孝
15 理甲三木卓一・同恵子・17 理甲 2 山本昭夫・同靖子・18 文 2 青木峰男
18 理甲 3 遺浅井清子・20 理 2 鶴岡誠・同千代子・21 文甲 1 額川勉二
21 文甲 1 遺小原美子・21 文甲 2 渡辺節・令妹・21 理 2 武田晃世・田所智恵子
事務局 阪田訓子 以上 15 名
第 2 部 寿式三番叟・義経千本桜・増補大江山
18 理甲 2 宇津敏勝・同泰子・21 文甲 1 圓井孝一・同好子・文乙村田貞子
21 理 2 遺藤井文子・22 理 1 阿澄一寛・理 3 井上達明 以上 8 名
計 23 名

④ 各地寮歌祭 連絡なし

⑤ 支部だより

* 関東浪高会

① 平成 25 年新年交歓会 25 年 1 月 10 日(木) 正午～14 時 30 分 於 新橋 かに道楽

出席者 12 文乙 平井廸郎・12 理乙 出羽皎・13 理甲 蜂谷謙一・林泉
15 理乙 岸保芳郎・16 理 1 清岡繁夫・理 2 山田庄一
19 理甲 2 武田聰光・渡辺衡夫・20 文乙 阪本亮二・21 文甲 1 徳久俊彦
21 文甲 2 田中 昂・中川種寿・22 文甲 1 前田昭・文乙 亀田一彦
22 理 3 山中俊夫 以上 16 名

平成 25 年の新春を寿ぎ 新年交歓会を開催した。今回は、例年のような特別な催しは行わず、その代り、出席者全員が、新年に当たっての所感を発表することとした。夫々の発言の内容は多岐にわたり、新年に相応しい有意義な交歓会となった。

- ②訃報 8 文乙 庭山慶一郎 平成 24 年 12 月 7 日逝去 東京都大田区
(関東浪高会の功労者であり、12 月 13 日の葬儀に、関東浪高会から、代表世話人 2 名が参列した)

＊奈良支部

第 25 回総会 24 年 12 月 6 日 (木) 正午～14 時 30 分 於 三笠温泉

出席者 15 理乙 前田哲郎・20 文乙 坪井澄郎・理 1 土橋幸雄

21 文甲 1 梶谷亘・文乙 村田正孝・22 文甲 2 国友正道

総会のあと懇親会に移る。村田夫人参加する。

前田前支部長からリニアカーについて興味深いお話を拝聴した。

⑥同期同級交歓

＊17 理甲 2 (待成会) 開催 24 年 11 月 26 日 (月) 正午～15 時

於 ホテルグランヴィア 中華料理店「北京」

出席者 西岡邦夫・畑捨三・三浦昭二郎・麦林布道・森田桂・山本昭夫

吉沢康和・同夫人

以上 8 名

23 年度は都合で取りやめ、22 年度は 6 名であったが、今回は東京より畑君、広島より吉沢君夫妻が出席され 8 名となった。夫人の参加で話題が増え賑やかな会となった。

高齢化に伴い本人・家族の健康への対処法などの情報交換や日本の危機についての認識の共有化、学校時代の旧友の情報交換や趣味の話題等、同窓ならではの遠慮の無い会話で明日への活力を得たと思う。

＊21 理 4 (リヨン会) 開催 24 年 12 月 15 日 (土) 於 宝塚「若水」

出席者 浅田幸男・稲荷眞名・内橋正夫・奥野巍一・川島康生・岸本明・桜井倬治

新家莊平・中原充雄・西村順三

以上 10 名

⑦運動部・同好会だより

＊剣友会 平成 24 年度年末例会 24 年 11 月 22 日 (木) 12 時～

於 日本棉業会館 フランス料理

出席者 14 文乙 出原孝夫・15 文乙 藤井甚十郎・15 理乙 上西洋二

17 理甲 1 栗野正之・18 理甲 1 矢島治明・22 理 3 芳賀洋 以上 6 名

講話 17 理甲 1 栗野正之

「逼迫する日本のエネルギー政策と温暖化対策をブレイク・スルーできるか？」

24 年 10 月 21 日に 8 理乙 榎野幾之輔幹事が逝去されたため後任幹事として例会出席者の推挙により 17 理甲 1 栗野正之氏の就任が決定した。

★ご案内

＊船場大阪を語る会 第 166 回例会

日時 25 年 3 月 16 日 (土) 午後 1 時 30 分～4 時

会場 さいかくホール (府庁新別館北館 1 階)

アクセス 地下鉄 (谷町線・中央線) 「谷町 4 丁目駅」下車、①出口を出て、そのまま

地下道を北へ 100 m、突き当たりを右へ、奥のエレベーターをご利用下さい。

講師 追手門学院大学名誉教授 宇田 正 氏

演題 「大阪の私鉄と河港」

今回は、水都大阪をめぐる私設鉄道と河船の連絡輸送について、鉄道史家の宇田正氏よりお話を伺います。氏は昭和 7 年 (1932) 大阪市港区生まれ、旧制北野中学より、学制改革で大手前高校を経て大阪大学へ。宮本又次博士に師事し、追手門学院大学教授として日本鉄道史研究に取り組み、全国同学有志と鉄道史学会を設立、第 3 代会長を勤められました。経済学博士。

主著に『近代日本と鉄道史の展開』(日本経済評論社刊)、『鉄道日本文化史考』(思文閣出版刊) 短歌結社山繭の会「ヤマユ」同人

会費 1 0 0 0 円 (入会金、年会費不要)

連絡先 船場大阪を語る会事務局 三島佑一 (22 理 2) 方

〒550-0014 大阪市西区北堀江 4-12-10-609 電話・Fax .06-6532-3094

共催 大阪府 (文化課)

＊国立公文書館 所蔵資料展

「国立公文書館が 大阪大学に やってきた！」 入場無料

開催期間 25 年 2 月 22 日 (金) ～3 月 9 日 (土)

開館時間 10:30～17:00

開催場所 大阪大学総合学術博物館待兼山修学館 豊中市待兼山町 1-20

T E L 0 6-6 8 5 0-6 2 8 4 <http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

<主催> 独立行政法人国立公文書館

<共催> 大阪大学アーカイブス・大阪大学総合学術博物館

<協力> 大阪大学 21 世紀懐徳堂